

取組内容 令和4年9月豪雨で被害が発生した地域にて避難訓練およびリスクコミュニケーションを実施

資料09

令和4年9月に本市で発生した豪雨災害により被害を受けた堺市中区毛穴町において、避難訓練とあわせてリスクコミュニケーションを実施しました。この地域は石津川による災害リスクが非常に高く、通常の避難タイミングでは避難路を断たれる可能性のある地域であったため、災害リスクの原因や避難の考え方、避難経路や避難所について解説した上で避難訓練を実施しました。

当日は約40名の参加があり、実施後の令和5年6月に当該地域において避難情報を発令した際には、被害はなかったものの多くの住民が避難し、防災意識の醸成に繋がった。

リスクコミュニケーションの風景



避難訓練の風景



コミュニティタイムライン例

地域避難計画および地域タイムラインについて

【地域避難計画】

・各町会・自治会の代表者様と年3回～4回のワークショップを開催し、近年の災害の特性や防災情報等を学んでいただき、町会・自治会が災害に備えるために必要な知識を得る機会を設けます。また、地域の特性を把握するため、まち歩きを行いそれぞれの中学校区オリジナルの地図を作成します。

【地域タイムラインについて】

・台風等の影響による大雨によって引き起こされる「洪水」や「土砂災害」の場合、気象情報からあらかじめ台風最接近（雨が強く降るとき）の時間を予測することができます。

しかし、いざという時に、いつ、誰が、何をするのかを分かっているなければ、全く意味がありません。

そこで、「個人」と「コミュニティ」が災害発生数日前から、災害発生まで、何をしなければいけないのか？を分かりやすくするために時系列に表します。

「いつ」「誰が」「何をするのか」を時系列に整理したものが「地域タイムライン」です。

・ 令和5年度 作成数

【地域避難計画】	2中学校区 計54町会・自治会	配布数：約11,000世帯
【地域タイムライン】	49町会・自治会	配布数：約10,000世帯

取組内容

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 3カ年計画

2017年から2022年の5カ年で32施設の避難確保計画作成
(対象施設100%作成完了)



計画規模降雨200年に一度 から
・計画規模降雨 100年に一度
・想定最大規模降雨1000年に一度
対象施設が32施設 から 183施設へ

水防法の改訂

に変更



年間約50施設の計画作成（3年で100%完了を目指す）



令和5年度 53施設 作成済み
令和6年度 47施設 作成予定
令和7年度 51施設 作成予定

取組内容

(取組の概要を記載)

・コミュニティタイムライン作成にむけたサポート

・個別避難計画の作成

取組内容 忠岡町総合防災マップの説明（災害リスク、避難情報、避難行動やマイタイムラインなど）

自主防災組織、介護支援専門員、民生・児童委員などに防災講座を実施し、忠岡町で想定される災害リスク等について説明し、自助、共助の重要性を再確認してもらいました。

また、ハザードマップの見方や町が発令する避難情報について説明し、避難行動フローを理解してもらい、マイ・タイムライン作成の重要性についても説明させていただきました。

